

archives



偉大な芸術家である自然は、ありふれた花はありふれた、だれの目にもとまるところで作つてゐる。いはゆる雑草でさえ、そこに示される驚異と美しさはとうてい筆舌のよく

なしうるところではない。が、要するにいはば行きずりの人の目の前で作られてゐるのである。

(ヘンリ・ライクロフトの私記より)



神護山 光明禅寺

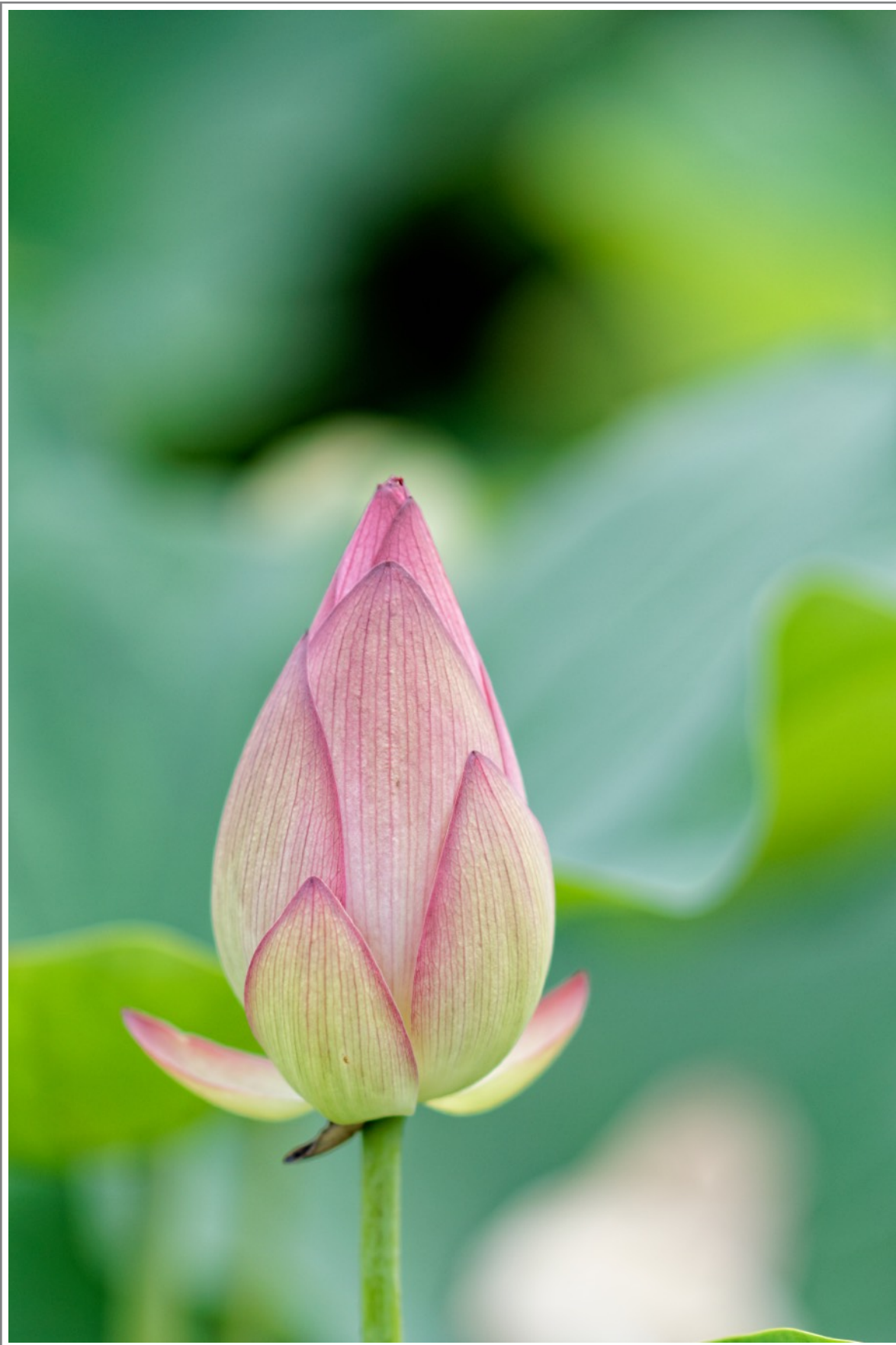
撮影地：福岡県太宰府市宰府2丁目16-1
－ 玄関前より前庭「仏光石庭」を撮影

カメラ：SONY α77 (SLT-A77V)

レンズ：Carl Zeiss
Vario-Sonnar T* DT 16-80mm F3.5-4.5 ZA

設定：16mm・F11・1/60・ISO200

太宰府天満宮の結縁寺、通称「苔寺」の新緑
光明禅寺の裏庭には苔で陸を、白砂で大海を表現した
「一滴海之庭」、前庭には石を配した「仏光石庭」と
九州唯一の枯山水の庭園があり見応へ十分なのじゃ。
この前庭は七・五・三の十五石で「光の字」に配石さ
れておるから、此の角度からの撮影ならば「題」はさ
しづめ「斜光」であるかのオ〜。『geezer (爺)』にお
いては、本堂や本殿を正面からは撮影してはならない
という全く理解不能なポリシーを保持しつつ、構図を
決めておるから、やつぱりこちらから.... archiving。
罰や〜あたりやせんよのオ〜♪。



大賀ハスの蓮華

撮影地：山口県山口市吉田1677-1
－ キャンパス癒やしの花を撮影

カメラ：SONY α77 (SLT-A77V)
レンズ：Carl Zeiss
Sonnar T* 135mm F1.8 ZA

設 定： 135mm・F1.8・1/600・ISO100

2000年を経て咲く大賀ハスの蓮華

「蓮は、泥より出でて泥に染まらず」といはれるやうに、古来からその凛とした清らかさが人々を魅了してきたのじゃ。山口大学正門脇に古代の大賀ハスが移植され早4年、頃合ひよしと真夏の撮影となつたのじゃが、朝が超苦手の『geezer (爺)』としては午後の一時「不審者以外はOK」の大学駐車場に侵入、が....朝が超得意の蓮華とは相性合はずで蕾を.... archiving。だが、『爺』には辺りの女子大生蕾に気の散らされる難行であるのオ〜。

「花のいのちはみじかくて. . .」などと呟けば....あつちこつちの若華から石が飛びかねない危険領域なので早々に退散しょお〜かのオ〜♪。



防府天満宮

撮影地：山口県防府市松崎町 1 4-1
- 参道石段より楼門を撮影

カメラ：SONY α77 (SLT-A77V)

レンズ：Carl Zeiss

Vario-Sonnar T* DT 16-80mm F3.5-4.5 ZA

設 定：60mm・F11・1/100・ISO400

菅原道真を学問の神として祀った天満宮
高校・大学受験と何度もお参りをし、その甲斐あつて
かシンプル脳細胞保持者の『geezer (爺)』でも志望校
に合格がすることができたのじゃが...、この二十数年
節分の籤（牛替神事）には、末等も当たつたことがな
い。この撮影の機会に行状をよ〜く反省してみると、
東門から入り西門に抜けるお参りばかりでは、何らの
御利益もなしなのじゃな。『爺』はこの方角から、汗
をふきふき石段登り、手水舎でのお清め、楼門を潜つ
て拝殿参拝をいたさねばと、只管後悔し.. archiving。
天神様は、やっぱ勉強させてくれてでのオ〜♪。



国宝五重塔

撮影地：山口県山口市香山町7-1
- 池面に映り込む五重塔を撮影

カメラ：SONY α77 (SLT-A77V)
レンズ：Carl Zeiss
Vario-Sonnar T* DT 16-80mm F3.5-4.5 ZA

設 定：18mm・F11・1/60・ISO320

日本三名塔の一つに数えられる瑠璃光寺の五重塔
勤務先の名刺用写真の撮影に立ち寄った午後、思ひが
けない「an unexpected piece of good luck(僥倖)」に
恵まれて、水面に映り込む五重塔（五重＋五重＝十重
塔？）を.... archiving。籤運は超悪の『geezer (爺)』
が、ぶち暑き日に撮影したご褒美じゃろうか、大内文
化の最高傑作を同時に二つも画面に収めることができ
たのじゃ、こりゃ～ええことが続くでのオ～♪。

欲深き『爺』の心は冬降る雪に似て、積もるにつれて
道を失うのでありました.....。



宍道湖大橋

撮影地：島根県松江市東本町（大橋川川面）
－ 大橋より日没後の宍道湖を撮影

カメラ：SONY α77 (SLT-A77V)

レンズ：Carl Zeiss

Vario-Sonnar T* DT 16-80mm F3.5-4.5 ZA

設 定：18mm・F4・1/60・ISO500

宍道湖東岸大橋からの宍道湖大橋

松江の夕暮れスポットは此所と決めて.... archiving。

松江には宍道湖夕日スポットなるものが存在し、ライブカメラまで設置してあるのじゃが、貪欲・我愛なる

『geezer (爺)』は大橋上から宍道湖大橋を撮影、夕焼け・欄干・灯籠・ヘッドライトという定番に三日月まで貼付と、ちやうど約束事のフルコースを楽しむかのやう。『爺』の若かりしころも光り輝きしかの月は、不老不死にて羨ましきかな今日のこの月、「何事も変わりのみ行く世の中に、同じ影にてすめる月かな」

（西行 山家集）....[女男]の邪魔せんで早よ～蕎麦食ひにいこォ～♪。



亀嵩 国道432号線

撮影地：島根県仁多郡奥出雲町亀嵩

– 亀嵩(かめだけ)の交通安全標識を撮影

カメラ：SONY α77 (SLT-A77V)

レンズ：Carl Zeiss

Vario-Sonnar T* DT 16-80mm F3.5-4.5 ZA

設定：80mm・F11・1/60・ISO400

奥出雲町亀嵩の国道432号沿いの交通安全標語

この標識を見た瞬間、『geezer (爺)』のシンプル脳細胞は過負荷状態....JJJJ。抑も、ユーモアは特定の相手を対象とする場合が多いが、自己満足的な場合やより具体的行動としての悪戯も含まれ、同様の概念としてはジョーク・駄洒落・言葉遊び・冗談・法螺があるのじゃが、いづれも人間同士のコミュニケーションにおいて、会話を弾ませたり、その場を和ませるための潤滑剤を目的として用ゐられたりするのォ〜、まあ標語の範疇はさておき、「亀嵩」は算盤と砂の器のみにはあらずと主張しているがごとく読み取れるのじゃが。とはいふても、『爺』の「燦燦号」を構図に配してのモノクロ.... archiving、これには勝てまあが〜♪。



功山寺 高杉晋作像

撮影地：山口県下関市長府川端1丁目2-3
- 高杉晋作の功山寺挙兵像を撮影

カメラ：SONY α77 (SLT-A77V)

レンズ：Carl Zeiss
Planar T* 85mm F1.4 ZA

設定：85mm・F3.2・1/8000・ISO400

是よりは長州男児の腕前お目に懸け申すべく

1864年12月高杉晋作は、幕府恭順姿勢の長州藩支配勢力を打倒し藩論の倒幕転換のため、死を覚悟し功山寺で決起した。伊藤俊輔率いる力士隊と浪士の遊撃隊合はせて84名の挙兵であつたが、これが明治維新の「基」と高く評価される功山寺挙兵じゃのォ〜♪。

『geezer(爺)』は、ここ功山寺に紅葉狩りに来たのじゃが、五卿潜居だの回天義挙やらの話でシンプル脳細胞は幕末回帰し、馬上の晋作挙兵像を.... archiving、拘り東行君、決起日は吉良邸討入りと同じ14日としていたが、準備の都合で馬上姿が1日遅れとか....。

拘り『爺』も紅葉寺にて「何ごとも進みのみゆく人の世に、むかしのかけをうつすもみぢ葉」... 詠歌。



曹洞宗 深龍寺

撮影地：山口県岩国市錦町深川91
－ 枝垂桜の枝間より茅葺き鐘楼門を撮影

カメラ：SONY α77 (SLT-A77V)
レンズ：TAMRON
SP 24-70mm F2.8 Di USD
設定：35mm・F11・1/80・ISO100

曹洞宗深龍寺の茅葺き鐘楼門
世の中に絶えて桜のなかりせば...花見『geezer (爺)』
は、冬眠明けの「熊」よろしく山間の寺に出没じゃ。
頃は枝垂桜の咲き始め、しかも人無く貸切状態、撮
影ポイントのすぐ横では「とことこトレイン」が桜ト
ンネルを走行中と....こりゃあ〜大穴場じゃのオ〜♪。
深龍寺は1485年鑄造の銅鐘と茅葺き鐘楼門+石仏
と被写体要素が取り揃ひ、しかも「熊」出おるんよこ
の辺、栗の木で爪研ぎすると飯屋の親爺が云うちゃっ
たんよ。で、熊のみぬ間に枝垂桜を.... archiving。
熊避けて桜観る春なかりせば...『爺』の心はのどけか
らまし〜。



津和野 加禰山王（おまけ！）

撮影地：島根県鹿足郡津和野町邑輝 7 9 5
－ 昭和の加禰山王を別邸庭園にて撮影

カメラ：SONY α77 (SLT-A77V)
レンズ：TAMRON
SP 24-70mm F2.8 Di USD
設 定：40mm・F5.6・1/80・ISO400

鹿足別邸庭園を散策なさる加禰山王
世の中に絶えて長者のなかりせば...貧『geezer (爺)』
は昭和の加禰山王が鹿足別邸に出没じゃ。
此処は鹿足郡の山間庭園、頃は紅葉の色づき始め、
しかも貸切状態。「恨みをかわんよ〜に、全部は写さ
んでくれ〜」で鯉等を愛でる「和翁」を... archiving。
古文書に「太鼓谷稻荷之普請加禰山王之御運上にて出
来申候、毎日銀千枚之運上三四十年茂続候由」とある
は、この「和翁」なり。翁古くは鹿の「頭・胴」も独
り占めでありしが、爾今は足使うのみとか、...が用意
の辞世を聞かば「執着の思ひや娑婆に残すらむ津和野
のもみぢ日原の月」...足、独り占めじゃ。『爺』にも
「しっぽ」なりとくれんかいの〜。